

東大野球部

New! メールマガジン

Vol.94

ごあいさつ

春風が心地よい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

春季リーグ戦は早くも2カードを終えましたが、得点力に欠ける厳しい戦いが続いています。来週の早大戦ではしっかり噛み合った投打で勝利を掴めるよう、練習に励んでまいります。ぜひ神宮球場に足をお運びください。

今後とも東大野球部をよろしくお願い致します！

今後の日程

〈春季リーグ戦〉

- 4月26日 慶大 10:30 明大 立大 13:00 早大
- 27日 早大 10:30 立大 明大 13:00 慶大
- 5月 3日 明大 10:30 法大 早大 13:00 東大
- 4日 東大 10:30 早大 法大 13:00 明大



選手目線で選ぶ！リーグ戦の見どころ

今回のメルマガでは、選手独自の目線からリーグ戦の見どころを解説してもらいました。

初馬 真人（4年・副将・外野手・桐朋）

僕はインニング間に行われるキャッチャーのセカンドスローを推したいと思います。

捕ってからリリースまでの流れるような動きと、放たれたボールが糸を引いたようにベース上のグラブに吸い込まれるその様子はまさに美しいの一言です。普段は見落としがちですが是非注目してみてください。



(下)初馬副将

(上)セカンドスローをする笠原捕手（4年・副将・甲陽学院）

石上 翔太（4年・投手・栄光学園）

リーグ戦の見所と言えば、芦田学生コーチ（4年・私立武蔵）の装飾品です。本来リストバンドやサングラスは選手にとって欠かせないものであるはずですが、学生コーチである彼もそれらを完璧な着こなして身に付けています。

また、高橋選手（4年・内野手・私立武蔵）は、生来のコミカルな肉体と所作を持ち合わせており、見ていると自然と笑みがこぼれてしまいます。特にこれ、というのはないのですが24番に注目しているということが必ずあると思います。



(上)石上投手

(左)高橋内野手(4年・私立武蔵)



(右)三星コーチを務める芦田学生コーチ(4年・私立武蔵)

(下)長藤内野手



長藤 祥悟（3年・内野手・山形東）

僕が選ぶリーグ戦の見所は、ベースコーチの仕事です。彼らは9人のフィールドプレイヤーには含ま

れませんが、時に勝敗をも左右する重要な役割を担っています。東大野球部のベースコーチの質の高さは六大学の中でも1番だと思っています。大きな声とジェスチャーで走者に適切な指示を出すベースコーチの勇姿に是非注目してみてください。

関 正嗣(3年・投手・半田)

リーグ戦の選手目線での見所は、ピッチャーとしてはやはりブルペンだと思います。試合中は試合展開を追うのが普通だと思いますが、ブルペンに注目して見ても面白いかもしれません。

ブルペンはマウンドよりも客席から近いので、ピッチャーがどんな球を投けているのかわかりやすいと思います。また、試合展開により、ブルペンが慌ただしくなってきたりしている場面などで注目してみると、選手の緊張感など伝わってくるでしょう。

(左)ブルペンで投げる福田投手(2年・時習館)
(下) 関投手



山本 克志(2年・内野手・聖光学院)

選手目線で選ぶリーグ戦の見所といえば、ベンチの雰囲気でしょうか。ベンチの雰囲気は各チームそれぞれ独特で、試合の流れをも左右させる力を持っていると思います。苦しい展開の試合が続く東大野球部ですが、常にベンチは明るく、決して最後まで諦めることはありません。ぜひ、各大学のベンチの雰囲気にも注目してみてください。

(下)山本内野手



(上)ベンチから声援を送る“アガタカ”こと阿加多外野手(右・3年・学芸大附)と高橋内野手(左)

編集後記

今回の特集はいかがでしたか。選手ならではの視点から、リーグ戦の魅力をお伝えできたかと思えます。選手が選んだものがそれぞれ違ったように、リーグ戦は本当にどこを見ても楽しめる場です。女子マネージャーが担当している場内アナウンスにもご注目いただけると嬉しいです。

残り3カード、部員全員が一丸となって勝利を掴むべく戦ってまいりますので、温かい応援の程、よろしくお願い致します。

お問い合わせ先

〒113-0023
東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮
TEL&FAX 03(3811)5100
メールアドレス office@tokyo-dbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

